

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

42号

2011.10.8 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

5月28日(土)…竹林整備(強雨のため中止) / 定例活動

6月11日(土)・18日(土)…トライアルサタデー「森の工作名人になろう」 / 特別活動

6月25日(土)…トンボ池周辺整備&竹林整備～兼「身近な自然体験会」～ / 定例活動

7月23日(土)…小屋周り整備～兼「ちょっと親睦会」～ / 定例活動

8月6日(土)…箕輪漆店を訪ねて / 特別活動

8月27日(土)…クラフト / 定例活動

9月24日(土)…柴刈り大会&いのちの谷整備 / 定例活動

5月定例活動

竹林整備

今月の定例活動は竹林の整備を予定していましたが、朝から生憎の雨となりました。

当日は「交通局ニュース」が森くらぶ取材したいということで、竹林の除伐作業の様子を写真に撮ってもらうつもりでしたが、それもかなわず、

雨の中での取材となりました。ウッドデッキからシンボルツリーへ場所を移し、くらぶの活動内容などを説明して活動は午前で終了。

後日「交通局ニュース」で桜通線の徳重延伸を記念した号(Vol.189)の巻頭を飾りました。(大館)

この記事は、名古屋市交通局のホームページでも見ることができます。



http://www.kotsu.city.nagoya.jp/about/news/news_h23.html

トライアルサタデー「森の工作名人になろう」

6月11日(土)天白生涯学習センターにて森くらぶ会員(大館、早川、塚口、森)の指導で参加した子どもたち20名と巣箱づくりに挑戦しました。

材料は会員が事前に切りそろえて準備したので、巣箱の組み立てが本日の体験学習のメインです。子ども達の中には金づちの扱いが苦手で、くぎ打ちに苦戦をしていた子もいましたが、全員が予定の時間よりも早く完成させることができました。完成した巣箱はセンターのガラスケースに1週間にわたり展示され、見応えのある風景となりました。



▲巣箱づくりに取り組む子どもたち

2回目は翌週18日(土)同じく午前10時から、前回のメンバーに眞弓さんも加わってガリガリ竹トンボ作りに挑戦です。細い竹材にヤスリで溝をつける作業は大人でも難しい作業ですが、会員の指導で子ども達も何とか溝をつけることができ、羽根を取り付けて完成

です。要領をのみ込むと子ども達の作業スピードは上がり、中には一人で3本も作った子もいました。こする位置によって羽根の回転する向きが逆転するこの玩具の不思議さに、子ども達は興味津々です。

指導に参加して下さった皆様お疲れ様でした。(森 勝)



▲完成した巣箱を持って記念撮影

6月定例活動 トンボ池周辺整備 & 竹林整備



例年梅雨時に開催の「身近な自然体験会」ですが、当日はモーレツな暑さとなり、休憩・水分補給

に気を配った活動となりました。

タモと虫かご持参でやる気満々の子ども達を見ていると、絶滅危惧種と揶揄される昆虫少年がまだまだ健在であることに一安心します。

トンボ池周辺の草刈りを終え、お待ちかねの水生昆虫の観察会です。今年はシオカラ系のヤゴが多かったのですが、脱皮直後の緑色をしたギンヤンマのヤゴや、親子3世代と思われるトノサマガエルにも出会えました。

観察会に続いて、ジャガイモ堀です。会員が種イモを植え付け、土寄せや草刈りをして育てたジャガイモはかなり大きく、昼に竹炭でホイル焼きにしてジャガバタと

して楽しみました。



▲昼にジャガバタを楽しむ皆さん

午後は、相生口周辺での竹の除伐体験で、1時間ほどの作業で散策路沿いの一画が見違えるようにきれいになりました。

しかし、とにかく暑かったので作業後の疲労も最高の一日でした。参加者の皆さん、本当にお疲れ様。(大館)

箕輪漆店を訪ねて

8月6日、にわか雨も降る蒸し暑いこの日は、野並駅に近くにある箕輪漆店を訪ねる見学会が行われました。会員の森さんが、オアシスの森でこの店の方と知己となり、この日の見学が実現したものです。



▲漆の入った樽などが並ぶ店内

漆器は英語でJAPANと呼ばれるように、日本を代表する素材であり工芸であり文化であるといえます。またSATOYAMAが国際語になった今日、里山の恵みとして古くから利用されてきた漆は、まさに里山の代名詞の一つといってもいいでしょう。

森くらぶから参加した10名は、店主さんに工房や倉庫などを案内していただきながら、詳しく説明を伺うことができました。



▲漆の種類を説明する店主の箕輪さん

漆は東南アジアや中国でも歴史が古いのですが、やはり色つやでは日本産が最も優れているとのこと。また、漆が湿度の高い所でしか乾かないと言われる所以として、その主成分であるウルシオールの中に含まれる酵素が活性化し、空気中の水分から酸素を取り込んで固まることも教わりました。



▲竹器に生漆塗り体験する森さん



一通り説明を受けた後、森さん作の竹器に、試しに生漆を塗らせて頂きました。生漆は少量でもよく伸び、白い竹肌はあっという間に渋い色となり、表情に深みのある趣が加わりました。



▲生漆を塗った竹器(手前2つ)

私たちに程近い街中に、漆という日本の里山文化が今も息づいていることに驚かされるとともに、ほっとする気持ちでした。さらに、今回の見学で、少し漆を知る機会を得ることができ、改めて日本人として漆や漆器と身近に触れ合う生活文化を継承していかなければと感じた次第です。(眞弓)

7月定例活動

小屋周り整備



この日は、約15名の参加者で、午前中に小屋周りの木々の除伐と畑仕事を行った後、お昼からは、東日本大震災のために自粛した萌

木まつりに代わって懇親会を行いました。

午前中の作業では、菅田口から小屋へ至る道にせり出した木々を、脚立等を使って剪定しました。この道はクルマが進入できる唯一のルートで、この作業によりクルマでの通行もしやすくなりました。また畑仕事は2月に植えたジャガイモの収穫等を行いました。

そして昼からの懇親会では、真弓さん調理のダッチオーブンによるチキン、収穫したジャガイモ、お店で買って来た枝豆（畑の枝豆はほとんど



収穫できず)、飲み物で楽しく盛り上がりました。

多種のスパイスが効いたチキン、今回初めて大鍋で煮てみたジャガイモもとてもおいしかったです。



▲親睦会お楽しみ中!

キャンプさながらの昼食会で、真夏の作業で疲れたからだを癒し、楽しいひと時を過ごすことができました。(村田)

8月定例活動

クラフト



8月は例年通り相生山小学校で :

のクラフトで、今回は巣箱づくりと竹細工の漆塗りに挑戦しました。

漆は、先の箕輪漆店訪問の際に購入したものです。漆塗りは面倒で、大変な作業と思いこんでいたのですが、かぶれないように注意さえすれば意外と簡単です。

漆を塗る品物づくりから始めました。森さんが箸とバターナイフ用の竹を用意してくださったので、各人好きなものに挑戦しました。竹を削って形にするのはかなり大変だったのですが、黙々と作業に集中すると心が落ち着いて至福の

時でもありました。各人個性的な形になりましたが、サンドペーパーで表面を滑らかにして漆を塗りました。

売られている品のように艶を出すには、一度塗っては湿気のある部屋で乾かすという工程を数回繰り返さなければならないようですが、一回塗りだけでも渋い感じが出て、自分で使うには十分でしょう。

巣箱も5個できました。「漆塗り」は今後の活動計画に組み入れることも検討することになりました。(伊藤 晶)

シリーズ『森の住人たち』⑳

～アヅチグモ～

アヅチグモ (安土蜘蛛) カニグモ科

体長 メス6~8mm オス2~3mm

分布 本州、四国、九州

出現期 6~10月 食餌 チョウ、ハチなど

ブルー・シートの上で白色の個体がすばやく動いた。速い、速い。

「何、何なの～」

メンバーから驚きの声があがる。私たち3人の目が、その動きを懸命に追いかける。

「クモだ～」

「真っ白なクモだよ。結構きれい！」

アヅチグモ (安土蜘蛛) だった。クモは苦手という人が多い。しかし、身体が「白」であることが、抵抗感をなくしたようだ。

アヅチグモは、人里周辺で観察される。草木の上でチョウやハチなどの飛来する昆虫を待機し、自身の身体より大きな獲物も捕獲する。この日私たちが出会ったクモは、7mm程の大きさの白色、つまりメスである。個体差が大きく黄色い個体も観察される。オスの体長は2~3mmと小さい。しかも褐色である。なかなか同一種とは思えない。(性的二形が顕著である。)

フィールド調査をしていると、調査対象物でないものとも好き嫌いも関係なく出会いが多々ある。さて、次はどんな生きもの、

いや森の住人との出会いがあるのだろう。

※アヅチグモの名の由来に関心があるのだが、現在のところ不明である。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)



▲ブルー・シートに訪れたアヅチグモ

9月定例活動

柴刈り大会&いのちの谷整備

9月26日の定例活動は、集いの広場付近の柴刈りを行いました。

会員の皆さんで各自ノコギリを持ち、一つ一つ草木を伐採していきましました。うっそうとした森の草や木を切り整備をしてあげると、林床に光が射し込むようになり、明るく開けて散策のしたくなるよ

うな森に変わりました。

午後は、山根口周辺で台風により倒れたコナラの大木と傾いた竹の除伐を行いました。

骨の折れる作業でしたが、きれいになった森を見て、達成感がありました。また、里山管理の大変さというものも身をもって体験する事ができ、良い一日となりました。

暑い夏も終わり、涼しく運動のしやすい秋になりましたので、ぜひ相生山緑地を散策されてみては

いかがでしょうか。(野崎)



野崎 巡さん

趣味は散歩と写真という、宮崎県出身の大学4年生。環境系の学科で勉強しており、特に里山などの緑地に興味を持っているので、森くらぶの活動を通じて理解を深めようと思ったのが、入会の理由とのこと。

Schedule

【今後の活動予定】

☆：定例活動 ★：特別活動

特記以外は 炭焼き広場 10:00集合

●：運営委員会 [第2土曜 午後13:30～ 相生小学校研修室]

★10月10日(月・祝) アサギマダラマーキング

☆10月22日(土) 第13回どんぐり祭り

★10月23日(日) 天百区民まつり参加 (天白公園にて)

★11月13日(日) 巣箱整備 (午前9:00 集いの広場集合)

●11月13日(日) 運営委員会

【注意!】
この回は第2日曜です。

☆11月26日(土) 竹林の整備&竹炭用材づくり

●12月10日(土) 運営委員会

☆12月24日(土) 正月準備&梅の剪定

2012年

●1月14日(土) 運営委員会

☆1月28日(土) ツツジの園再生&しいたけ駒菌打ち

●2月11日(土) 運営委員会

☆2月25日(土) アカマツ林再生プロジェクト

●3月10日(土) 運営委員会

☆3月24日(土) 第14回萌木祭り



Information

●●● 会員募集中! ●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先(郵便局) オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

【事務局(参加申込み・お問合せなど)】

伊藤 晶子 052-895-8523 中島 己治男 052-803-9534

【Eメール】

Mail address : aoiyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

【ホームページ】

URL address :

<http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/>

★ニュースレターのカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています!
お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!